

山口県は岩石の宝庫

岩石がほぼ勢ぞろい



「ほっとやまはく」

先日、他の県で開催された地学関係の企画展の

よつた岩石で成り立つて
いるかを地形図上に示し
たものです。岩石の種類
と時代の違いを、色や模
様を使って表現していま
す。山口県の地質図を見
てみると、緑やオレンジ、
ピンク、紫色など、とて
もカラフルです。多くの
色があるといつことは、
すなわちいろいろな岩石
があるということを指し
ています。

積岩」「變成岩」という分け方です。火成岩はマグマが冷えて固まつた岩石、堆積岩は砂などの堆積物が固まつてできた岩石、變成岩はもともとの岩石が熱や圧力の影響を受けてできた岩石のことです。そして、岩石ができた時代もさまざまです。古い方から古生代（約5億4000万年前）、中生代（約2億5000万年前）、新生代（約6

岩石のほとんどが分布しています。それらを観察すれば、岩石についてひと通り知ることができますね。山口県はまさに「岩石の宝庫」と言えますね。

ここで「岩石の宝庫」たる理由が分かるエピソードを一つ紹介します。ある時、山口県中部に分布する凝灰岩（火山灰が堆積して固まった岩石）について、山口県の岩石が載っている図鑑を使つ

冊子を見ていたときの」とです。面白いなあと思つて読んでいましたが、ふと「あれ？ この県の地質図つてど」に載つていたんだつけ？」と疑問に思いました。パラパラめぐつて探してみると、冊子の最初の方にありました。なぜ、見過してしまつたのでしよう？ それは、見慣れている山口県の地質図とは随分異なつていて、使つている色の数が少なく色合いも違つたため、印象に残らなかつたからです。

地質図とは、私たちの足元に広がる大地がどの

さて、いろいろな岩石とは、何がいろいろなのでしょうか？ 岩石の分け方で図鑑などによく登場するのが、「火成岩」「堆積岩」などです。このため、岩石の種類と時代の組み合わせによって、いろいろな岩層が存在することになります。

地学展示室にある山口県の地質図（山口地学会発行）

て調べていました。この時、凝灰岩について一般的にはどのように説明されているのかと思い、別の図鑑を見ようとしましたが、手元にありません。「あれ？ 一般的な図鑑がない。山口県のしかない！」ということに初めて気が付いたのです。書店で売っている一般的な図鑑がなくても、山口県の岩石を知つていれば、岩石の知識をだいたい身に付けることができてしまうのです。それだけ山口県には、さまざまな種類の岩石が分布しているのです。

山口県の堆積岩

（古生代・中生代・新生代）の堆積岩の幾つかを紹介しましょう。堆積岩

A large, irregularly shaped piece of dark greenish-blue chalcopyrite mineral specimen.

古生代の堆積岩（ウミコリ）

中生代の堆積岩
(植物化)
石を含む泥岩

A large, irregularly shaped light-colored rock specimen, likely sandstone, containing several fossilized shells. The shells are elongated and pointed, characteristic of the genus Terebratula. Some shells are partially embedded in the rock, while others are more exposed on the surface.

A large, rectangular, dark blue rock specimen with prominent vertical sedimentary layering or bedding, displayed on a wooden circular base.

新生代の堆積岩（貝化石を含む砂岩）

中生代の堆積岩（放散虫化石を含むチャート）

まずは古生代 古生代の堆積岩といえば、世界的にも知られている秋吉台の石灰岩です。ウミユリやフズリナなどの化石がたくさん見つかっています。続いて中生代。美祢市の植物化石・昆虫化石を含む泥岩、ケイ酸塙分の殻をもつ放散虫という微化石の集まりのチャート（岩国市や美祢市に分布）など。そして新生代の堆積岩には、下関市 の貝化石を含む砂岩があります。

山口県立山口博物館
TEL 083-922-0294
月曜休館（祝日
の場合は翌日）。
最新情報はホー
ル、ウェブサイト

